

加西市議会だより

No.182

2025

2

新春のつどい 2025

初日の出に込めた希望、輝く未来へ

議会報告「市民との意見交換会」を開催 (P12)

- 12月定例会
- 議案審議レポート (P2~4)
 - 議決結果 (P5)
 - 一般質問 (P5~11)

議場コンサートの観覧者を募集します (P15)

写真提供：西横田町 中根 修平さん
ランドマーク展望台にて

議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

北播磨3市1町の活性化を 通じて、人口の定住を図る

議案第65・66号
北播磨広域定住自立圏形成協定の一部変更
について

概要 定住自立圏構想推進要綱に基づき、平成27年10月5日に締結した北播磨広域定住自立圏形成協定の一部を変更するもの。
(議案第65号：加西市及び加東市と西脇市との協定)
(議案第66号：加西市及び加東市と多可町との協定)

取組事項の追加	・多様性理解の啓発 ・移住定住の促進
取組事項の削除	・地域資源のブランド化 ・環境・エネルギー対策の推進

質疑

問 多様性理解の啓発の取組内容は。

答 全ての方が安心して自分らしく生きていくことができるように、性的指向、ジェンダーアイデンティティの多様性を啓発し、寛容な社会をつかっていくため各市町で合同研究会を開催した上で、圏域住民を対象とした講演会などの共同事業を実施する予定です。

問 北播磨広域定住自立圏形成協定による財政措置について。

答 現在は24の事業を行っており、中心市である加西市には、令和6年度7,410万円の特別交付税措置が講じられる見込みです。

討論

賛成

・今後さらに進むであろう人口減少や社会変化を考慮すると、近隣との連携は大変重要と考える。協定は5年ごとの見直しだが、今後、必要な取組事項が出てきた場合には、5年を待たずに変更していく柔軟な対応ができるよう、近隣市町としっかり連携を取ってほしい。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決



播磨圏域16市町による デジタルインフラ整備推進

議案第67号 姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部変更について

概要 連携中枢都市圏構想推進要綱に基づき、平成27年4月5日に加西市と姫路市との間において連携協約を締結し、加西市と姫路市を含む播磨圏域8市8町で播磨圏域連携中枢都市圏を形成し、圏域の活性化に取り組んでいる。令和7年度から「デジタルインフラ整備」やデジタル技術を活用した「介護」分野での新たな連携を行うため、連携協約の一部を変更するもの。

質疑

問 ICTを活用した介護分野での新たな連携内容は。

答 各市町の介護サービス事業者や医療機関、障害福祉サービス事業者などの情報をマップ化し、パソコンやスマートフォンから施設情報の検索が可能となります。これにより、市民サービスの向上に加え、介護の関係部署やケアマネージャーなどの業務の効率化を図ります。

問 デジタルインフラ整備の連携内容は。

答 中核市である姫路市を中心として、各自自治体におけるDXの取組や課題の共有、圏域内での共同システムツールの導入、オープンデータカタログサイトの利用促進、デジタル人材の育成等に取り組む予定です。定期的な情報共有により最新の技術動向を把握し、圏域一体となった新たなサービス提供につなげることを目指します。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



市道鶉野飛行場線の開通 令和7年2月末頃を予定

議案第68号 市道鶉野飛行場線道路新設工事その12 請負変更契約の締結について

概要 令和5年11月6日に請負契約を締結した市道鶉野飛行場線道路新設工事その12について、請負金額を変更するもの。

請負金額	変更前 1億4,986万7,300円 変更後 1億6,486万5,800円
工期	完成 令和7年1月30日
変更内容	①路体盛土、路床盛土のセメント改良追加 ②県道三木穴粟線との取り合いによる重力擁壁追加 ③既設農道取り付けに伴うブロック積擁壁追加 ④県道三木穴粟線歩道との取り合いによる街渠追加 ⑤通学路（歩道）の安全確保のための交通誘導員増

③は当初計画の土羽仕上げでは幅員が確保できないことが判明したため、ブロック積みにより幅員を確保します。
④は当該歩道は通学路となっており、交差点部分の歩道街渠を早期に完了させ、児童の交通を確保するためです。
⑤は学校やPTAと協議し、通学時の安全確保の徹底が重要との意見を受け、交通誘導員を増員して安全を確保します。

問 工事は予定どおり完了するのか。今後のスケジュールは。

答 市道鶉野飛行場線はこの契約以外にも4つの工事が同時進行しています。令和7年2月中の開通を目指していますが、起点となる県道玉野倉谷線、終点の県道三木穴粟線の整備工事が若干遅れています。請負業者と調整して2月末の開通に向け鋭意進めているところです。また、以前から要望していた市道中野家塚線との交差点への信号設置は令和7年4月以降となる予定です。

質疑

問 追加工事等が必要となった理由は。

答 ①は池区間においてセメント改良により本体盛土の強度を確保する必要が生じたためです。
②は県との協議により、県道歩道部分の擁壁を滑らかな取付け形状とすることとなったためです。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決

市道鶉野飛行場線道路新設工事その12 変更概要図



泉統合小学校大規模改修や スクールバスの購入、障害 福祉サービスの利用増など

議案第 69 号 令和 6 年度加西市一般会計補
正予算（第 5 号）について

質 疑

泉統合小学校大規模改修等 2 億 9,400 万円の増

問 大規模改修及び増築工事の内容について。

答 校舎や屋根の塗装、外壁、校舎の床、教室のレイアウトの変更等の改修工事を行います。また、図工室と会議室、給食の配食室の 3 つを増築する予定です。体育館は空調を設置し、照明を LED 化します。そのほかにも外構工事、屋外トイレの改修工事を予定しています。工事費は今回の補正予算と債務負担の 4 億 4,100 万円を合わせ、総額 7 億 3,500 万円となります。

スクールバス購入 7,500 万円の増

問 スクールバスの購入予定は。

答 泉小学校に導入する予定のスクールバスは、45 人乗りの中型バス 2 台、29 人乗りの小型マイクロバス 2 台、14 人乗りのワゴン車 2 台の計 6 台です。



問 リースではなく購入とした理由は。

答 購入の場合は起債するため支払利息が生じ、リースの場合はリース料率がかかります。それらの年間の費用を積み上げていくと、使用開始後 8 年から 10 年ぐらいで購入のほうが総額的には有利になります。

私立認定こども園給食費補助 451 万 1,000 円の減

問 食材等が高騰している中、給食費補助金が減額となった理由について。

答 給食費の無償化に伴い、私立園に通う 3～5 歳児の主食費と副食費を園に対して補助しており、保護者の所得が一定額以下で副食費が免除される場合は市の負担はなく、国からの給付があります。私立園に入園する 3～5 歳児の人数が見込みよりも少なく、また副食費免除の人数が増加したことが要因と考えます。



子育て支援事業 60 万 9,000 円の増

問 ショートステイ措置費について、現在の利用状況はどうなっているのか。

答 一時的に子供の家庭養育が困難となった場合に児童養護施設等で養育する事業で、令和 6 年 11 月末

現在で延べ 18 人、81 日の利用がありました。保護者の急な入院や障がいのある両親の育児支援のための利用等が重なったこと、また、今年度から里親宅での預かりを開始し、需要に応じることが可能となったことから、利用が増加しています。予算執行状況は 94%となり、今後の利用を見込んで増額補正を計上しています。

障害者福祉費 1 億 800 万 6,000 円の増

問 介護訓練等給付費及び障害児通所給付費の増額理由は。

答 市内に福祉施設が新規に開設されたことなどに伴い、サービス利用の増加が見込まれるためです。



道路維持費 810 万 7,000 円の組替

問 用地購入費の減額及び工事請負費の増額理由は。

答 社会資本整備総合交付金を活用した市道中野網引線の通学路整備に関し、買収面積の確定により用地購入費が減額となったため、その金額を工事請負費に組み替え、工事の早期完成を目指します。

橋梁維持費 4,200 万円の減

問 調査測量委託料が大幅に減額となった理由は。

答 補修を予定していた市道桑ヶ池池上線の泉橋の着工が延期となったためです。中国自動車道をまたぐ跨道橋と呼ばれる特殊な橋であるため、高速道路管理者のネクスコと工事委託について協議を進めてきましたが、ネクスコでは今年度の受託は難しく、工事を見合わせました。



討 論

賛成

・泉統合小学校のスクールバス購入費用について、今後統合中学校においてもスクールバスが計画されることを踏まえ、今後のモデルケースとなるようしっかり運行計画を進めていただくようお願いする。（本会議）

議決結果

全会一致で原案可決

第311回 令和6年12月定例会 議決結果一覧

全会一致で承認、適任と答申、可決した議案

報告第4号	専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和6年度加西市一般会計補正予算（第3号））
報告第5号	専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和6年度加西市一般会計補正予算（第4号））
諮問第20号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
議案第64号	加西市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第65号	北播磨広域定住自立圏形成協定の一部変更について
議案第66号	北播磨広域定住自立圏形成協定の一部変更について
議案第67号	姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部変更について
議案第68号	市道鶉野飛行場線道路新設工事その12 請負変更契約の締結について
議案第69号	令和6年度加西市一般会計補正予算（第5号）について
議案第70号	令和6年度加西市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第71号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第72号	特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第73号	令和6年度加西市一般会計補正予算（第6号）について
議案第74号	令和6年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第75号	令和6年度加西市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
議案第76号	令和6年度加西市病院事業会計補正予算（第2号）について

市政を
問う！

一般質問

12月10日～11日の本会議では、13名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。（発言順に掲載）
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)

子育て応援5つの無料化と幼児教育③

～ ただのまちだけが子育て応援か！～



性を意識した幼児期の教育に取り組んでいます。

問 5歳児健診はどう考えているのか。

答 5歳児健診について出産前から実施している切れ目ない支援の最終、特に就学前の支援の強化のために、令和7年度より5歳を迎える幼児全員を対象に実施する計画です。集団実施する5歳児健診は、健診に関わる多職種の視点で保護者や他児との関係、集団の中での行動など、子供の特性を確認することができ、家庭や周辺における困り事への対応、必要時には早期療育、医療につなげるなど将来的に適切な就学の場や、支援体制整備を行います。

問 加西市の子育て支援の現状と課題、施策は。

答 加西市で子供を産んで育てるには、働きにくい、住みにくい市になってはいけませんので、総合的に施策を充実させて、加西市で子供を産んで育てていく人が増えるよう取り組みます。

問 ふるさと納税に頼ってきた5つの無料化は、いつまで継続できるのか。

答 5つの無料化の原資として、頼っている部分が大きいのも確かです。ふるさと納税が減ったからとすぐに施策の変更は難しいですが、長期的に財政状況を見据えながら考えていきます。

■その他の質問項目

- ・ 加西市の活力ある農業に向けて
- ・ 新市立加西病院の整備に向けて

問 目指している幼児教育の考え方、方向性は。

答 幼児期の教育、保育は、その子供の生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で大変重要であると考えます。こども園では、自発的な遊びや体験活動を重視し、園児が主体的に考え、学べる環境を提供しています。異年齢児との交流や遊びを通して、人と関わる力を育てています。年齢や特性、発達に応じた適切な指導や支援も行っています。加西市の幼児教育の伝統的な特色として、小学校への滑らかな接続、学びの連続



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)



教員の働き方改革 ～働きがい～

教員の長時間残業の現状

問 令和5年度の、教員の長時間残業の状況は。

答 小中学校教員 255 人のうち、残業時間が国のガイドラインの1か月45時間を超えている者は86人(34%)、年間360時間を超えている者は約120人(47%)でした。

教員採用試験倍率の低迷

問 近年、教員採用試験の倍率が低迷しているが、市教委としての認識は。

答 教員の負担が大きいこと、教員という職業の魅力が伝

わらないことが要因と考えます。

国の方策の効果

問 文科省、財務省が掲げる改革案では、学校現場が抱える問題を根本的には解決できないと考えるが、教育長の見解は。

答 (教育長) 両案とも、少しは効果があるかもしれませんが、教員増の効果は難しいと思います。業務の縮減や見直しを、国全体で進める必要があると考えます。

「やめる」の実践を

問 学校業務は、「スクラップ&ビルド」ではなく、「ビルド&ビルド」である。負担軽減のためには、「スクラップ」「やめる」を実践するべきでは。

答 「やめる」の実践として、多忙期の6時間目授業のカットや、研究発表会の休止などの事例はありますが、学校への要望な

どが増加するなか、「ビルド」ばかりが増えているのが実状です。

プールの民間委託を

問 教員にとってプールの負担は大きく、また、年間20日程度しか使用しないプールに膨大な維持管理費は非効率である。既設校のプールの民間委託を検討しては。新統合中学校にはプールを設置せず、民間委託をしては。

答 特に小学校教員にとっては負担が大きいため、民間委託のメリット、デメリットの検討は必要と考えます。新統合中学校については、中学校長会や教員から自前プールの強い要望があり、設置する計画で進めています。

■その他の質問項目

- ・スクールバス調査委託の状況は
- ・高齢者世帯の粗大ごみ戸別収集の状況は



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)

市長の政治姿勢について



問 就任されて1年半が経過する中、振り返って思いをお聞きしたい。

答 (市長) 責任の重さをひしひし感じているところです。まず、就任時には考えられない積極的な予算が生まれ、また、就任前には駆け込んだ入札契約などもあったことから、一部の補正予算しか組むことができず、政策の理解を得ることに非常に苦労しました。こうした中でも公約実現に向かって市政を推進しています。

監査委員から2年連続して指

摘されていた道の駅や未来型児童館の建設を再考し、病院についても建設時の経営や診察に対する影響、病院が持つ周辺への波及効果などを考慮して計画の再考を行いました。そのほか、都市計画税の廃止、道路修繕の推進、市単独の物価高騰対策として水道基本料金の免除、事業者への原油価格高騰支援金、市民養老金の拡充などを実施してきました。また、市民の声を踏まえて再検討し、方向性が定まった小学校の統合などに取り組んでいます。

今後はしっかり市民ニーズを捉えながら、加西市発展のため事業に取り組んでいきたいと思っています。

問 令和6年10月末に提出された「庁舎増築計画の中止を求める会」の署名について、どう受け止められたのか。

答 (市長) 署名については、議会審議を経て設計予算も可決いただいた中、なぜ今頃、提出されたのか、また、本当に純粋に署名をされたのかと疑問に思うものもありましたが、2,200余りの署名があったことは、重く受け止めたいと考えています。

しかしながら、議決に関わったベテラン議員がこの署名集めに回られ、「お願いされたからやむを得ず署名した」といった苦情も寄せられており、議員の資質を疑うところです。また、庁舎の増築を職員のためと勘違いされているような意見も多く、正しい理解の下で署名されたのか疑問です。庁舎は市民のものであり、市民サービス向上のため、また、防災対策のための施設です。厳しい財政状況が続く中、適期を見極めて対応することが本来の市民目線に立った行政運営と考えます。

道路舗装整備などによる交通安全対策



深田 照明 議員
(清流会・かさいを育む会)



問 現在の道路舗装や修繕整備の予定数と進捗率は。

答 加西市の市道は500キロメートルを超える距離があります。令和3年度の舗装劣化調査や日常パトロールにより、修繕すべき主要路線として22.6キロメートルを選定し、順次、舗装・修繕、区画線修繕を主としながら課題解決に向けて取り組んでいます。令和6年12月現在で舗装打ち換えを行った路線は約12キロメートルで進捗率は53%となっています。

地域要望である集落内市道の舗

装修繕は令和6年3月末時点で、事業費200万円以上の中規模修繕が134か所、200万円未満の小規模修繕が37か所ありました。令和6年度に工事を予定している中規模修繕19か所のうち12か所、小規模修繕は全11か所、合わせて23か所が年度内に完成する見込みです。修繕箇所のみ残しは中規模修繕122か所、小規模修繕26か所となっています。

問 市道中野家塚線の全面的な舗装のやり替えと安全性向上に向けた対応は。

答 この路線は補修対象路線として位置づけし、舗装すべき路線と認識しています。蓋掛け工事などの安全対策も続けていきながら、車両や歩行者の状況等も加味して総合的に判断し、補修を行いたいと考えます。

問 市道上宮木玉野線の整備計画の概要と事業スケジュールは。

答 この路線は起点を県道三木穴粟線、終点を市道繁昌玉野線とする延長2.1キロメートル、全幅が11メートルの道路です。西側に幅員2.5メートルの歩道がつき、そこから1.1メートルの幅広路肩となり、片側3メートルの車道になります。また、東側には1.5メートルの幅広路肩がつく構造となります。

令和3年度に設計を見直し、令和4年度から用地測量、用地買収を行っています。令和7年度は残りの用地買収とともに豊倉町内の道路改良工事を実施します。令和11年度の完成を予定しており、早期完成を目指して事業を推進していきます。

線引き（市街化調整区域）の廃止と今後の開発



北川 克則 議員
(令和新風加西)



問 線引き廃止後は農地転用の手続はどうなるのか。

答 市街化調整区域については、変更ありません。市街化区域については、農業委員会への届出から市街化調整区域と同じ許可制に変わります。届出制に比べると、手続に若干時間がかかりますが、転用については原則許可されます。また、農地転用の可能性については、農地法に非線引き区域内の農地に関する緩和規定はありませんので、市街化調整区域内の土地では、簡単に転用できない状

況は今と変わりません。

問 線引き廃止に伴い、地区計画や開発許可に影響はあるのか。

答 線引き廃止後も運用を大きく変えることなく、地区計画の活用を続ける予定としており、決定済みの地区計画を廃止する予定はありません。詳細なまちづくりルールを設定する必要がある場合や、建築物の用途制限を特定用途制限地域と違う内容にしたい場合など、地区計画の指定が望ましい場合は、今後も地区計画を設定する方向です。

開発許可は、市街化区域は1,000平米以上、市街化調整区域は面積にかかわらず必要となっていますが、線引き廃止後は3,000平米以上に緩和されます。面積規程の緩和に対する監視のため、地元説明

の義務づけなどを事業者と協議しており、開発調整条例の内容の充実を図ります。事業者にとっては開発許可のコストと時間の削減が見込まれます。

問 今後の開発について、日吉小学校を含む地区計画の検討は。

答 日吉小学校跡地を地域拠点形成地区に指定し、多様な用途に使用できるよう検討しています。地区計画は、緑地や道路の配置など詳細なまちづくりルールを設定すべき場合、小学校跡地だけではなく、周辺地域を含めた全体的なまちづくりを考えるなど、地域の意向を踏まえて検討する可能性は十分あります。地域の機運が高まれば、地域や都市計画審議会でも議論したいと考えます。



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

防犯灯の維持管理負担の見直し



問 防犯灯の設置及びメンテナンスについて。

答 防犯灯は区長様の要望により市が設置しています。メンテナンスや地元調整は、防犯灯設置に伴う確約書を区長様より提出していただき、設置日以降のLEDの点灯、維持管理や民家等への影響等の苦情解決も、町で対応していただいている状況です。

問 相談のあった自治会では、約10年前に設置された防犯灯について確約書を書いた覚えのある人はなく、市にも保管されていないとのこと。市はいつから

そういうルールを決めたのか。

答 10年前に設置した防犯灯については、3,452基を蛍光灯からLED灯に交換し、その際に区長様より確約書を提出していただいておりますが、数が多いため十分な周知徹底ができなかったと考えています。昨今、市内各町から修繕の相談が多数あり、各町の財政事情が厳しいことは理解しています。市長も防犯灯の交換について言及しており、LED灯の維持管理の負担について見直す時期になっていると理解しています。

問 LED灯の費用負担について考え直すとは。

答 地元負担をお願いしていましたが、市が交換することを検討していくということです。

問 防犯灯の維持管理について市が費用を負担することの

周知について。

答 代表区長会や区長会総会などで周知できればと考えています。ただし、確約書という形を取るかどうかは別にして、防犯灯に関する地元でのトラブル、苦情等については引き続き地元で解決していただくようお願いしたいと考えています。

意見 確約書のような重要な書類はスキャナー等でデジタル化し、町ごと、年度ごとに整理してすぐに出せるようにしていただきたい。

■その他の質問項目

- ・危険空き家対策について
- ・し尿収集業務委託について
- ・脱炭素先行地域の全体像について
- ・中国道北条バス停の階段の手すりについて



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

統合する学校の中身の検討を強く要望



問 統合に関する情報発信についての考えは。

答 学校を通じて開校準備委員会だよりを配布したり、ホームページやSNSでも発信していますが、十分に周知されていない状況です。情報発信ツールの特徴を生かして改善していきます。

問 教職員や保護者の思いはどのように把握されるのか。

答 学校再編の方針の説明会では、保護者の意見は主に統合に関するものでした。統合を身近に控えた現時点で、再度保護者の意見を伺う機会を持ち、あわせ

て、教職員や子供たちの思いも聞き取りたいと考えます。

問 北条中学校と統合中学校の学校方針は。

答 互いの良さを認め尊重し、切磋琢磨しながら共に高みを目指し、どちらの学校も地域に愛され、地域とともにある中学校を確立したいと考えています。

問 自転車通学に関しての調査は。

答 新たに通学路となる道路の危険箇所等についてはまだ把握していません。安全に通学できるように、開校までに市と県の担当部署、加西警察と連携して通学路の点検を進めたいと考えます。

問 隣接する高校の自転車通学の現状は確認されたのか。

答 通学路が重なるため、高校から危険箇所の情報を収集

し、把握・共有を進めます。

問 検討委員会の在り方としてどのような課題があるのか。

答 委員数が多いため意見を出しづらいという声もありました。委員全員で決めるだけでなく、目的に合わせて部会方式としたり、テーマごとに話し合うことも必要になってくると思います。今後も協議内容に応じて活発に意見が出やすいよう、運営方法を工夫して進めたいと考えます。

要望 学校統合は、子供たち一人一人の人生に大きく影響があるということ。統合しても、小規模でのメリットを決してなくさないこと。これから何十年と続いていく統合中学校ですから、未来の時代に合った教育をしっかりと見定め、その上で統合中学校の中身の検討を強く要望します。

小中学校統合後の自転車交通指導について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 2024年11月から改正道路交通法が施行され、自転車の「ながらスマホ」の罰則強化や「酒気帯び運転」が罰則対象となった。今回の改正の後、2026年に自転車等の右側を車が通行する際のルールも新設される。小中学校への交通指導はどのように対応されているか。

答 毎年4月から6月にかけて、中学校4校、小学校11校、こども園10園、幼稚園1園、特別支援学校へ出向き、延べ27回の交通指導教室を開催していま

す。自転車については、小学校3年生から6年生及び中学生を対象とし、主に自転車の訓練やDVD視聴による講習、交通安全講和等を行っています。今後は改正道路交通法の自転車に対する罰則が強化された内容、また2026年の改正もありますが、小中学生に分かりやすい交通指導教室を開催していきたいと考えています。

問 小学校も中学校も統合していく。小学校は、令和8年4月には泉中学校区4校が統合する。以前のように3年生以上の全児童が自転車を学校に持ってきて、交通指導教室を受けるのは実質難しい。同級生の自転車を借りて壊すことになると困ると、学校も危惧している。統合後の交通指導教室は、どのような計画にされるのか。

答 どのような形で個人の自転車を使うのか、また、どのように教室を開催するかについて、具体的なことは決めていません。今後、学校と協議しながら、よりよい開催方法を検討していきます。

意見 スクールバスが導入されることにより、今後、様々な行事の移動手段として利用することができる。播磨中央公園のサイクルセンターやその他の施設を利用して教室を開催するなど、様々なことを今後の発展材料として検討していきたい。

■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地と周辺について
- ・市民サービスの向上について

脱炭素先行地域づくり事業の着実な実施を



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 脱炭素先行地域に選定された計画の全体像について。

答 太陽光発電の再エネ電力を車載用蓄電池を活用してエネルギーマネジメントを構築し、九会北部地区内（上宮木、下宮木、下宮木村）の自家消費率70%以上を達成すること。九会北部地区、市役所周辺の2か所でマイクログリッドを構築すること。地域エネルギー会社を設立し、再エネの地産地消による脱炭素と地域内経済循環を実現するというものです。

問 計画の期間は、

答 国の交付金の期間は、令和5年から9年の5年間ですが、全体的には令和12年度を目標に進めています。

問 九会北部地区、市役所周辺のマイクログリッドの進展状況は。

答 九会北部地区は、soraかさい、南部公民館、南部給食センターをマイクログリッドで結び、7～8年度に整備工事を行います。市役所周辺は、市役所と市民会館をマイクログリッドで結び、整備工事は8～9年度の予定です。9月議会で可決された国庫補助金4,600万円を活用し、新会社が実施設計業務を行います。

問 (株)かさいスマートエナジーの事業内容について。

答 一つ目は市内で開発した再エネ電源を公共施設に供給

する小売電気事業です。二つ目は公共施設等に太陽光発電施設のマイクログリッドを整備、管理します。三つ目は車載用蓄電池等を活用し、太陽光発電の余剰電力を有効利用します。四つ目はエネルギーの地産地消と再エネ開発により、地域内経済循環を図ります。

問 この会社のリスク対策は。

答 加西市は債務に関する損失補償や貸付け等の財政支出は行いません。公共施設への電力販売事業から開始するため、リスクが非常に低い事業運営になること、また、再エネ開発事業は国庫補助率が高いことから、安定した経営が可能と考えています。但陽信用金庫が監査役に就任され、また脱炭素化支援機構へ毎年決算報告するなど、経営状況のチェック体制が構築できると考えます。



土本 昌幸 議員
(公明党)

人口減少対策について



問 人口減少対策について2点お聞きします。1点目はU・IターンとGターンについてです。以前から、U・Iターン及びJターンに取り組んでいます。最近ではGターンとあって、群馬県の移住促進で地元企業への就業体験の開催や交通費の助成などで、都市部の学生を出身地や地方への移住につなげる取組があります。当市の状況とGターンについての見解を求めます。

答 当市もU・J・Iターンの施策を実施してきました。代

表的なものでは、U・J・I促進補助で奨学金の補助制度など、また新婚世帯向け家賃補助制度や若者定住促進住宅補助制度などを実施してきました。これらの取組により社会減は少なくなっています。外国人を含めて社会増になった年もありますが、日本人だけでは社会減となっています。

ただ、これらの施策を継続する必要性は高く、国も地方創生2.0として都市と地方の交流を進めていく方針を打ち出しており、引き続き実施を考えています。

また、Gターン——群馬へのターンということで、加西であればKターンでしょうか。これも国の制度ですが、来年度就職活動で、その旅費を支援する枠組みがありますので、加西市も取組を考えています。

問 2点目は北播磨広域定住自立圏形成協定の変更で、移住定住の促進がありました。連携した取組が効果的だと考えます。今後の方向性をお聞かせください。

答 北播磨広域定住自立圏共生ビジョンを改定し、新たに移住定住の促進に取り組みます。全国の自治体が集まる移住相談会が大阪で開催されますが、令和7年度からは北播磨広域定住自立圏の3市1町で参加して、定住自立圏として移住定住を促進したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・地域包括ケアシステムについて（要介護・認知症の増加）
- ・災害ボランティアについて
- ・学校再編について



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

担い手不足への対策



問 区長業務の棚卸しの進捗は。また具体的な成果はあるか。

答 令和4年度に令和5年度を見据えた自治会依頼事項の棚卸しを全庁的に実施し、配付物削減、連絡手段の電子化、回答方法の簡便化、委員整理などで自治会役員の負担軽減に努めました。令和6年度はライフナビを導入し、区長発送と同等の情報をデジタルで入手可能となりました。令和7年度に向け、広報配付部数の削減による負担軽減を進める予定です。

問 デジタル化推進の体制整備や具体的な計画、デジタル化に移行できない方への配慮は。

答 かさいライフナビのダウンロードの啓発を進め、令和6年12月1日現在、かさいライフナビ登録者数1万2,800人、公式LINE登録者数3,648人となり、合計1万6,448人の登録があります。全世帯への普及を目指し、自治会には1世帯当たり1,000円をお支払いし、協力をお願いします。不慣れな区長様向けに各地域でサポーターを任命し、普及率向上に努めています。実際に自治会内の連絡に活用している町は既に54町となっています。

まずは、先進的に使用している自治会で、モデル的に広報等の配付部数の削減化に取り組み、区長業務の効率化の効果を検証します。不慣れな方にも配慮し、自治

会全体で合意形成を図りながら進めていきます。

問 スキマバイトを活用した農家の草刈り支援の計画は。

答 単発バイトアプリを活用した草刈り支援では、生産者のコスト負担が大きいと、市からの推奨は難しい状況です。ただ、このようなスキマバイトアプリは多数あり、農業系金融機関が運営する農業専用アプリを含む有効な手法を提案できるように研究を進めます。

■その他の質問項目

- ・sora かさいの運営管理について
- ・区域区分の廃止について
- ・若い世代が働きたくなる環境づくり
- ・農業の活性化について（スマート農業の推進）



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

統合中学校の進捗と課題



問 基本設計の進捗状況は。

答 校舎、室内運動場、武道館等の建物配置が確定し、各教室の配置もほぼ決定しています。今後は各教室の大きさや内部設計、外構等の設計を検討していきます。令和7年3月をめどに完成させ、引き続き実施設計を行い、令和7年12月中に設計業務全体が完成する予定です。

問 教室等の設計において現場の声をどのように反映されたのか。

答 親子ワークショップや教科担当のワークショップの意見を集約し、さらに各学校からの意見を設計に反映させています。多方面からの意見聴取や集約を丁寧に行うことにより、学校の教育環境や機能面に生きてくると考えます。

問 通学路等の安全対策は。

答 統合中学校は県道三木穴粟線と県道玉野倉谷線が交差する位置にあり、朝夕は車両が多く通行します。学校への進入路、正門の位置については、通学バス等の侵入により渋滞が生じないよう、慎重に検討します。また、学校からJAまでの区間の歩道確保も課題で、学校周辺の歩道や自転車道の経路や整備について、県や加西警察と事前協議しています。通学路については教育委員会と情

報共有を密にし、安全な通学路を確保したいと考えます。

問 小・中学校統合に伴うスクールバスの考え方は

答 市全体でかなり多くのバスが必要となります。運行についても委託または市直営、あるいは両方でいくのか検討しています。運転手確保の問題や公共交通との兼ね合いもあり、可能な限り効率よく運行したいと考えています。休日の部活動も踏まえ、今後検討していきます。

問 スクールバスと地域公共交通との連携について。

答 可能な限り連携やネットワークの形成を試みたいと考えます。統合により校区は広がりますが、今後も地域の方の協力をいただきながら進めます。



大前 裕也 議員
(加西維新の会)

加西市の人口を増やす施策を



問 外国人のために市が行っているフォローアップは。学校での状況はどうか。

答 市内の学校などに在籍する外国籍の児童・生徒へのフォローについては、特に日本語指導が必要な場合は県の教育委員会から子ども多文化共生サポーターの派遣を要請しています。ただし、対象は在留1年以上という条件のため、これだけでは十分な支援を行うことはできません。そのため、加西市では人権推進課を通じてNPO法人加西市国際交流協会から通訳を派遣してもらったり、学

校が作成した書類を母国語に翻訳してもらったりしています。

問 学校以外で外国人の子供と日本人の子供が交流する機会はあるのか。

答 加西市の国際交流事業は、NPO法人加西市国際交流協会が担っていますが、外国人と日本人の子供同士が交流する事業は行っていません。子供たちは、こども園や小学校生活などを通じて交流しているのが現状です。

問 外国人を加西市に呼び込むための施策は。

答 現在、整備を進めている加西市多文化共生センターが外国人の交流等の拠点となるよう検討しています。住環境の整備や就労先の確保、企業の受入体制、地域住民の理解など様々な課題を

解決する必要があります。多文化共生センター内に仮称「加西市外国人雇用環境サポートデスク」を設置し、外国人を雇用する企業の実態把握と啓発活動を実施したいと考えています。また、移住したい方に空き家バンクの情報やU・J・Iターンを提案するなど相談業務を充実させ、子供たちの交流も含め家族帯同の方へ発信できるよう取り組みます。

意見 加西市に住む外国人の家族や友人、知人を呼び込むことができれば、人口増加につながるのではないか。そのための取組を今後とも行っていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 令和6年執行兵庫県知事選挙を終えて
- ・ 国における税制改正の議論での地方自治体への影響

議会報告「市民との意見交換会」

令和6年11月21日(木)、市庁舎多目的ホールにおいて、午前と夜間に分かれて「市民との意見交換会」を開催しました。今回の意見交換会では、テーマ①「人口減少への対策について」、テーマ②「フリーテーマ」として、ワールドカフェ形式で意見を交わしました。

参加者の皆さまからは、人口減少対策に関して具体的なアイデアや提案が寄せられるとともに、地域社会の活性化に向けた熱意あふれるご意見をいただきました。また、フリーテーマでは、日常生活に関する要望や議員としての活動への期待が率直に語られました。いただいた主なご意見を紹介させていただきます。

午前の部 (10時～11時45分)

①人口減少への対策について

- 小中一貫校の導入、大学の誘致、高校のレベル向上を検討してはどうか
- 小学校の統合には慎重であるべき
- 加古川北インターと加西インター間のインフラ整備が必要
- 朝7時頃の加古川・姫路方面からの渋滞対策を進めてほしい

②フリーテーマ

- 行政人材の育成や仕組みの改善が必要
- 塾に通わずに済む教育環境を整備してほしい
- 出産前後のサポート体制を充実させるべき

要望・提言

- 女性や若者の働く場所の確保、中小企業支援を強化してほしい
- 市内の障がい者施設の視察を通じて議員の理解を深めてほしい
- 北条高校や播磨農業高校を支援するプロジェクトチームの設立を検討してほしい



夜間の部 (19時～20時45分)

①人口減少への対策について

- 産婦人科がないことが人口減少の原因
- 生涯学習施設を充実させてほしい
- 大手企業を誘致し、雇用を確保することが重要
- 若者が「住みたい」と思える場所を目指すべき
- 交通の改善を図ってほしい

②フリーテーマ

- 議員は市民に分かりやすく現状を説明する能力を持つべき
- 他市との比較や現状の正確な把握が行政運営の向上につながる
- 人口減少に伴い、公務員の質低下が懸念される
- 病院建設について、費用や医師確保を含めた課題を明確化してほしい

要望・提言

- 議員定数を維持し、現役世代が議員を目指せる給与設定が必要
- 職員や議員は外部の意見や情報を積極的に取り入れるべき
- 都市計画の線引き廃止を積極的に進めてほしい
- 文化的施設(美術館・博物館)の設置を検討してほしい



～ワールドカフェ形式とは～ 少人数のグループでリラックスした雰囲気の中で、テーマに沿って意見交換を行う方法です。各グループには進行役(ファシリテーター)がつき、話し合いをスムーズに進める役割を担います。今回の意見交換会は、参加者が同じグループでじっくりと意見を交わし、多様な視点や具体的な提案を共有しました。この形式は、全員が発言しやすい環境をつくるのが特徴です。

いただいた貴重なご意見は、議員間でしっかりと共有し、今後の議会活動や政策立案に反映してまいります。ご多忙の中で参加いただきました市民の皆さまに心より感謝申し上げます。今後も、市民の声を大切にしたい議会活動を目指して取り組んでまいります。

閉会中の議会活動報告

建設経済厚生常任委員会 令和6年11月15日(金)

閉会中の所管事務継続調査事項について、委員会から要求していた資料に基づき、調査を行いました。主な審議の内容は次のとおりです。

問 健康福祉まつり 2024 の開催状況、市と社会福祉協議会合同で福祉まつりを開催する可能性について。

答 社会福祉協議会には事前に相談しましたが、相談時点での社協まつりのテーマが災害であったため、合同開催を見合わせました。今後は早い段階で社会福祉協議会と相談し、扱うテーマによっては合同開催を検討していきます。

問 ふるさと納税の今後の動向について。

答 地場産品基準の変更により、区域内で企画立案された商品も対象となったことから、令和5年に掲載できなかった商品や新規商品を掲載し、ポータルサイト上のバナーにおいてPRをしています。また、令和6年の米不足から生じた米価値上げの影響を見越し、返礼品で必要な量を農家や農事組合法人に依頼して確保したことから、米については寄附額が昨年比481%の伸びとなっています。

問 道路台帳の整備に係る進捗について。

答 数年前に債務負担行為を活用して予算の平準化を図りましたが、予算規模が少なかったことから、市道認定に合わせた道路台帳の整備が執行できず、積み残しが毎年発生している状況です。市道の総延長は、地方交付税の算定基礎となることから、12月補正に土木総務費を計上し、積み残し路線の解消に当たります。また、交付税の算定基礎となっている重要性を再認識し、業務引継ぎの際にも伝えていきます。

問 九会地区エコタウン構想に係る進捗について。

答 造成費が高騰する中で開発事業者の公募型プロポーザルを行いました。収支計画等を再度精査する必要が生じたことから、再公募をかけている状況です。地元区長には説明しており、令和7年1月に事業者を選定、3月～4月の初めにかけて協定書を締結する予定で進めています。また、地権者への現状説明は早期に行い、誠意を持って対応していきます。

問 火葬場の基幹改修工事について。

答 改修工事は令和7年度から始まりますが、過去の全面改修等の際は1日の処理件数を4件から3件に抑えて対応したことから、同様の運用を考えています。市外の火葬場を利用せざるを得ない場合は、市外料金の差額を補償する制度があります。

問 市立加西病院の事業収支、損益の見通しについて。

答 運用病床数の縮小を考えており、医師を除く医療職等の採用数を抑制することで、人員数の適正化を図り、医業費用を抑える一方、令和7年度は循環器内科1名、呼吸器内科1名の常勤医師の増員が見込まれており、医業収益の改善、ひいては経営改善を図ります。12月には、市内外の開業医、連携病院の80か所を集中的に回り、加西病院での受入れをPRしていきます。



行政視察（総務常任委員会） 令和6年11月5日（火）

日吉・宇仁・西在田・泉の4小学校の5年生による「4校合同オンラインSTEAMプログラム」授業を視察しました。各学校のSTEAMラボをつなぎ、『統合小学校の校章を作ろう』をテーマに、4校の児童一人一人がオンライン上で自分の思いを込めた校章図案を発表し合う内容となっており、STEAMラボの活用状況やSTEAM教育の実践について理解を深めました。

行政視察（建設経済厚生常任委員会） 令和6年11月8日（金）

加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の2市2町で運営する「エコクリーンピアはりま」（高砂市）の整備・運営について視察研修を行いました。

施設の全体像及び理念、施設概要、運営会社（株）高砂環境サービスの概要、可燃ごみ処理の流れ及び売電収入、不燃・粗大ごみ処理の流れと資源化の仕組み、ベビー用品のリユース事業、環境教育、年間の運営費用と2市2町での負担割合とその根拠、設立時の周辺環境整備事業と自治体間の負担割合等について学びました。



ゴミの分別場所



ベビー用品のリユース展示

このほか、令和6年度は下記の行政視察を実施し、先進地の事例を学びました。詳細は市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

- ▷ 総務常任委員会（令和6年10月21日～22日）
視察先・視察内容：千葉県木更津市「オーガニック給食と食育」
茨城県かすみがうら市「学校跡地利用について」
- ▷ 建設経済厚生常任委員会（令和6年10月24日～25日）
視察先・視察内容：埼玉県鴻巣市「5歳児健診について」
茨城県境町「移住・定住、PFI事業について」

令和6年度行政視察の受入れ状況（令和6年12月末現在）

令和6年12月末現在で15団体、132名が加西市の取組を視察されています。

月日	団体名	調査事項	月日	団体名	調査事項
7月9日	東京都粕江市議会	運動ポイント事業	10月29日	岩手県遠野市議会	特別支援学校の運営
7月19日	新潟県佐渡市議会	自治体DX	10月31日	鹿児島県日置市議会	議会改革の取組
7月23日	栃木県那須塩原市議会	「アスモ」	11月5日	愛知県蒲郡市議会	ふるさと納税NFT
7月31日	鳥取県倉吉市議会	議会の市民参画ほか	11月7日	広島県議会	STEAM教育
10月16日	福島県田村市議会	コミバスの取組ほか	11月12日	熊本県玉名市議会	住民参画の取組
10月17日	茨城県鹿嶋市議会	定住自立圏構想	11月13日	福岡県広川町議会	DX推進
10月22日	徳島県阿波市議会	ふるさと納税	12月25日	秋田県大仙市議会	議会改革
10月25日	東京都小平市議会	自治体広報のDX			

特別委員会の活動状況

議員定数等調査特別委員会

- 1 開催状況：令和5年10月23日、11月14日、令和6年2月7日、4月8日、7月8日、11月14日、令和7年1月27日
- 2 審議の経過：令和5年9月28日に設置されて以降、多様な人材の参画や議員のなり手不足の解消に向けて様々な調査を行い、議会の在り方や適正な議員定数などについて検討を重ねています。令和6年5月に行った市民アンケートでは、議員の定数について、現在の15人が適当との回答と減らした方がよいという回答がどちらも約3割という結果でした。委員会の審議においても意見が分かれている状況です。
そのような状況も踏まえ、令和7年1月21日に「地方議会における議員定数について」をテーマとして、講師に有識者を迎えて研修を実施しました。
- 3 今後の予定：令和7年2月12日に委員会を開催。

新病院建設特別委員会

- 1 開催状況：令和6年1月11日、8月21日
- 2 審議の経過：令和5年12月22日に設置されて以降、市立加西病院の新病院建設に向けた基本構想や計画策定の取組状況、建設の計画工程や事業費、医師の確保などの様々な調査を行っています。また、令和6年2月22日には加西病院サポーターの会と意見交換を行いました。新病院の建設場所が確定し、また基本構想・基本計画が策定されたことに伴い、今後も新病院の環境整備などについて引き続き調査・検討していきます。
- 3 今後の予定：令和7年2月13日に市立加西病院との懇談会を実施。

議場コンサートの観覧者を募集します!!

令和6年秋から進めてきた議場の一部改修工事が完了したことに伴い、リニューアルを祝うコンサートを議場で開催します。
小さなお子様も観覧していただけますので、一緒に楽しみましょう。
リニューアルした議場でお待ちしています。

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

開催日時 令和7年2月24日（月・休）10時30分～11時30分

観覧場所 市役所議会棟3階議場議員席および4階傍聴席

出演者  さるびあっ子《合唱》
 Miracrew@home（ミラクルホーム）
《手話ダンス》
 加西市吹奏楽団《合奏》

募集人数 82名（先着順）

募集期間 令和7年2月3日（月）8時～2月12日（水）17時まで

応募方法 右のQRコードを読み込み、申込みフォームからお一人ずつご応募ください。
詳細は加西市議会ホームページをご覧ください。



申込みフォーム

市議会トピックス

● 閉会中の委員会開催日程

月日	時間	会議
2月3日(月)	10:00	総務常任委員会
2月10日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
2月12日(水)	10:00	議員定数等調査特別委員会

表紙写真を募集しています!

市内で撮影した行事・風景・まちなみなどの写真を募集しています。お気に入りの一枚で表紙を飾ってみませんか?
 ※5月1日発行の183号の表紙写真は募集しません。8月1日発行の184号は募集しますので、ぜひご応募ください。

● 令和7年3月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会議
2月25日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
2月27日(木)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
3月5日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月6日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
3月7日(金)	10:00	本会議(予備日)
3月10日(月)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
3月12日(水)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月13日(木)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
3月14日(金)	14:00	予算決算常任委員会総務分科会(予備日)
3月21日(金)	14:00	予算決算常任委員会(全体会)
3月25日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。
 3月定例会での取扱いを希望される場合は、令和7年2月17日(月)17時までにご提出ください。

傍聴のご案内

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。会議の開催当日に議会棟2階の議会事務局で傍聴人受付簿に氏名等を記入の上、傍聴してください。本会議の傍聴では、車いすを使用されている方用の席を2席分設けています。

※会議の日程などは変更される場合があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。か、議会事務局(☎42-8790)へお問い合わせください。



加西市議会ホームページ

議会の日程や議案の審議結果、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録を掲載



加西市議会公式X

市議会の活動や情報を発信
 アカウント名: 加西市議会
 URL: https://x.com/kasai_gikai

発行編集 加西市議会
 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
 [TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
 [email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長	下江 一将	副委員長	西脇 親
委員	高橋佐代子	委員	高見博道
委員	橋本真由美	委員	森元清蔵